



SAASクラウドトランス フォーメーションを 成功させる12のベスト プラクティス

すべてはクラウド

10年ほど前、企業はコスト削減とスケーラビリティという2つの目的でクラウドに移行しました。しかし、デジタル技術が進化し、イノベーションが盛んになるにつれ、クラウドはビジネストランスフォーメーションの重要なテコとなりました。Infosysの「Cloud Radar 2021」調査では、全世界で2500人以上の回答者を対象に、クラウドは今やビジネスを実現するものと見なされ、中核的なビジネス戦略に組み込まれる余地があると述べています¹。企業のデジタルトランスフォーメーションの成功は、そのクラウド戦略と密接に関連していることは言うまでもありません。しかし、企業のクラウドトランスフォーメーションの道のりが平

坦であることはほとんどありません。企業がデジタルトランスフォーメーションに苦戦し、最終的にそれを断念するという話は思いのほかよくあります。BCG²によると、デジタルトランスフォーメーションが成功する確率は低く、そのようなプロジェクトの70%は失敗すると考えています。しかし、Infosys Digital Radar 2022の調査によると、デジタル技術の導入が遅れた企業は同業他社に遅れをとり、生き残りに苦勞することになる³。

明らかに、デジタルトランスフォーメーションは複雑な事業であり、単なるITイニシアチブの1つとしてではなく、組織のレンズを通して見る必要があります。しかし、この旅で成功した組織もあります。では、その秘訣はどこにあるのだろうか？

クラウドトランスフォーメーションのための12のレバー

本稿では、Oracleのクラウドトランスフォーメーションを成功に導くための12の重要な成功要因について説明します。私たちは、Oracleのクラウドエンゲージメントとエンタープライズトランスフォーメーションの旅に関する幅広い経験から、これらの要因を特定しました。

1. プロセス中心のアプローチ

Oracle SaaS Cloudへの移行は、企業にとってプロセスを簡素化する良い機会です。このアプローチは、プロセスを最大限に調和させ、法的、規制的、法定要件にのみ逸脱を認めるべきです。これは特に、多くの場所や地域に存在する大規模組織に関連します。

プロセスを定義する際には、標準的なOracle Cloudのベストプラクティスを取り入れ、ワークショップでビジネスユーザーに異常なプロセスの採用を促し、不必要なカスタマイズを避けることが重要です。

2. SaaSのカスタマイズ

SaaSソフトウェアをカスタマイズすることは、その基盤そのものに反していますが、しかし、余計な事態がこの問題を強要することもあります。例えば、必要な機能がサードパー

ティのツールでは利用できず、ビジネスプロセス実行の中核になる場合があります。このような場合、エンドユーザー向けにユーザーインターフェイスをパーソナライズできるパーソナライゼーションが望ましいアプローチです。

3. スコープマネジメント

クラウドプログラムの成功には、スコープマネジメントが欠かせません。実用最小限の製品（MVP）を定義し、試験的な展開ではそのスコープを遵守することを推奨します。スコープクリープは、多くの組織のクラウドジャーニーにおける大きな要因です。スコープの拡大を効果的に管理できないために、ユーザー受け入れテストまで新しい要素が入り込んでしまいます。プロジェクト管理チームは、スコープの変更を注意深く監視し、必要な承認と、労力対コストの強力な正当性が得られる場合にのみ、それを受け入れなければなりません。

¹Infosysクラウドリーダーレポート2021

²デジタルトランスフォーメーション成功の確率をひっくり返す | BCG

³Infosysデジタルリーダー2022

4. 展示と説明アプローチ

クラウドソフトウェアの実装では、よりスムーズな採用を保証し、さらに重要なこととして、後で驚くことを避けるために、主要なスーパーユーザーが最初から深く関与する必要があります。展示と説明アプローチとは、サンプルビジネスデータを使って、構成されたアプリケーションをウォークスルーすることです。これは、ユーザーがクラウドアプリケーションでプロセスがどのように機能するかを確認するための確実な方法です。

5. 採用を促進するペルソナベースのアプローチ

採用を容易にするために、ペルソナベースの設計アプローチを推奨します。このアプローチはまた、将来の状態プロセスを設計するための「day in a life」方法論による実行を示すものでもあります。「day in a life」アプローチでは、将来的にプロセスがどのように機能するかを早期に把握することができます。

6. ハイブリッドアジャイルプロジェクト実行アプローチ

当社の経験から、クラウドのデプロイメントにハイブリッドアジャイルアプローチを採用すれば成功が約束されることが分かっています。ここでは、プロジェクトを複数のスプリントに分割し、各サイクルは設計と構築を含めて3週間です。もちろん、SITとUATはウォーターフォールアプ

チで実施することも可能ですが、設計と開発サイクルはスプリントで実施する必要があります。

7. データにフォーカス

なんと70%のプロジェクトがデータの問題で失敗しています。ほとんどの企業は、データ変換、特にデータ品質、特にマスターデータの変換に十分に注力していません。レガシーシステム内の不良データをクリーンアップしなければ、同じ低品質データが新しいクラウドアプリケーションに移行されてしまいます。もう1つの一般的な課題は、エンドツーエンドの変換プロセスと移行されたデータ品質を検証するための模擬変換が不十分です。そのため、スムーズなエンドツーエンドのデータ変換プロセスには、良質なデータと複数回の変換練習が不可欠です。

8. テスト、テスト、テスト

成功へのマントラは常に「テスト、テスト、テスト」です。主要ユーザーによるテストは、アジャイルアプローチを利用したプロジェクトの開始時に開始すべきです。ほとんどのプロジェクトは、ユーザーが新しいアプリケーションを使いこなせないために失敗するので、テストは超重要になります。これは、テストシナリオを特定し、テスターがテストスクリプトを実行してアプリケーションに慣れることを意味します。それなりの規模のプログラムでは、テストの進捗と記録された不具合を追跡するテストツールの使用が不可欠です。



9. 強力なプログラム・ガバナンス

適切なプログラムモニタリング、スコープマネジメント、主要な設計決定の管理は、強力なプログラム・ガバナンスによって行われます。そのため、主要な設計上の決定（KDD）文書を設計フェーズで作成し、ビジネスとITから必要なレベルの賛同を得て設計決定を行います。

10. 組織変更管理の重視

クラウドのカスタマイズは最も好ましくない選択肢なので、この文脈では変更管理が重要になります。レガシープロセスを放棄し、可能な限り新しい働き方を受け入れることです。変更管理は、変更の影響分析を実施し、主要ユーザーを採用プロセスを通じて導く上で主導的な役割を果たします。さらに、ビジネスサイドから数名の「主要な変更チャンピオン」を特定し、それをより多くのユーザーコミュニティに導入するための主要な先導者とするので、よりスムーズな導入が実現します。

11. 自動化への注力

自動化はクラウド導入の成功の鍵です。自動化が必ずしもクラウドアプリケーションにネイティブであるとは限らないが、実行効率を高めるためにプロセスを自動化する他の

ツールに目を向けることはできます。自動化の機会を特定し、チームはその分析と有効化に同時に取り組むべきです。

12. トレーニングの重視

ユーザートレーニングは、あらゆるプログラムの成功に大きく影響します。一般的に、導入パートナーは「トレーナーを訓練する」、つまり主要なスーパーユーザーを訓練し、そのスーパーユーザーが今度はエンドユーザーを訓練します。

スーパーユーザーのトレーニング内容は、よりITに特化したものに対し、エンドユーザーのトレーニング内容は、ユーザーの日常業務を考慮することで、異なるモデルにする必要があります。その結果、よりインストラクショナルなものにならざるを得ません。

結論として、これら12の提言は、Infosysの多様な顧客ポートフォリオで得られた経験に基づいています。デジタルトランスフォーメーションとビジネスパフォーマンスの間に明確な関係があることを考えると、企業はクラウドトランスフォーメーションプログラムにこれらのプラクティスを取り入れるとよいだろう。

著者について



Somnath Majumdar

Infosysのシニア・インダストリープリンシパル

Somnath MajumdarはInfosysのシニア・インダストリープリンシパルです。マスターデータ管理（MDM）およびサプライチェーン変革プログラムにおいて22年以上の経験を持っています。Somnathは、製造、ハイテク、小売、金融サービス業界のグローバルクライアントのMDM戦略と展開を推進していきました。データ管理とサプライチェーン管理の分野におけるソートリーダーです。

Infosys Cobaltは、企業のクラウドジャーニーを加速するためのサービス、ソリューション、プラットフォームのセットです。14,000を超えるクラウドアセット、200を超える業界のクラウドソリューションのブループリント、そしてビジネス価値の向上を推進するためのクラウドビジネスとテクノロジーの専門家による活発なコミュニティを提供しています。Infosys Cobaltでは、規制およびセキュリティコンプライアンスに加え、技術的および財務的ガバナンスが、提供されるすべてのソリューションに組み込まれています。

詳細については、askus@infosys.comまでお問い合わせください

Infosys[®]
Navigate your next

© 2023 Infosys Limited、インド、ベンガルール。無断複製・転載を禁じます。Infosysは、本文書の情報が発行日現在で正確であると考えていますが、かかる情報は予告なく変更される場合があります。Infosysは、本書に記載されている商標、製品名、その他の知的財産権に対する他社の所有権を認めます。明示的に許可されている場合を除き、Infosys Limitedおよび/またはこの文書に記載されている知的財産権所有者の事前の許可なく、電子的、機械的、印刷、複製、記録、その他いかなる形式または手段によっても、この文書またはその一部を複製、検索システムに保存、または送信することはできません。